

第43-44期 青年部会 副部長・委員長からのコメント



副部長 (総務)
岩本 哲治

コロナ禍での不安定な状況からのスタートでしたが、部長が2期歴任していただいたお蔭様で、青年部会として安心感のある定例会、活動が出来たと思います。総務委員会としてはzoomも含め毎月の定例会を予定通り開催。原町田大通り清掃も無事行うことができました。振り返れば委員長に負担をかけ、副委員長の皆様に支えられた2年間となりました。ありがとうございました。



副部長 (広報)
守屋 栄橘

副部長として4年間、鈴木体制を担いました。鈴木部長ありがとうございました。今回はコロナによる影響を受け、広報活動も様々な制約を受けました。そんな中でも、過去最大の規模で参加した全国大会沖縄大会は、印象深いイベントであり、学び、遊び、交流と様々な面で得るものがありました。次期は、より一層積極的に会の運営を進めたいと考えます。皆様ありがとうございました。



副部長 (研修)
米山 和紀

43期に実施した羽田空港のオンライン見学ツアーは、初めての試みでしたが参加者の皆様からは高い満足度を得ることができました。また、44期では健康経営に関する研修セミナーを実施しました。健康経営の意識を高めることで、柱となる活動に弾みをつけることができました。



副部長 (租税教育)
小山 剛弘

租税教育委員会では町田でおこなっている『かねしばい』を全国へ広げるための映像を2期4年かけて、委員会の枠をこえてたくさんの方に協力していただき完成させることができました。今後は全国へ広げると共に、内部の演者を増やす方にも活用していければと思います。



副部長 (組織)
寺下 宏之

組織担当副部長の寺下です。皆様のご協力があり任期を全うすることが出来ました。心より会員の皆様には御礼申し上げます。これで年齢的に卒業となりますが、部会員皆様の事業の益々のご発展と、町田法人会青年部会の更なる活発な活動をこれからも陰ながら応援させていただきます。ありがとうございました。



総務委員長
木目田 世史

2年間総務委員長を仰せつかり副委員長の皆様に助けられながらも主に例会設営や他委員会との鎖役としてあっという間の任期でした。改めて【総務】という役割は大変で大切な立場という事がわかりました。貴重な経験をさせていただき感謝しております。



広報委員長
渥美 元博

広報誌は一誌のみの発行となつてしまいましたが、facebookを通じて対外的にも数多くの青年部会の活動を発信できました。これも、守屋副部長並びに大田さん、岩田さん、植田さん、関さんの各副委員長のお陰です。ありがとうございました。



研修委員長
笹野 純子

研修委員の皆でコロナ渦でも楽しめるよう知恵を出し合い、オンラインでの夏のファミリー研修は多数で参加いただき、マチビス2022では町田ブランドについてプレストしたりと今期ならではの活動ができたかなと感じております。



租税教育委員長
安齋 英行

租税教育委員会では、町田独自のオリジナルかみしばい(金しばい)のDVD製作に時間を使いました。その間、租税教室、コロナ問題。やっとの思いで完成しました。今後は、このDVDを活用し、活動の幅を広げていきたいと思います。協力して頂いた皆様、ありがとうございました。感謝



渉外委員長
鍵谷 直樹

久しぶりに役務を頂いたにもかかわらず、全国大会も行けず、何も出来ないまま終わってしまい大変心苦しいですが、今年度も渉外委員会を継続して活動させて頂けるようになりましたので、微力ながら勉強させて頂ければと思います。渉外として、リアルに会える喜びと感謝をもって活動に参加していきたいと思ひます。鈴木前部長様、寺下前副部長様拾って頂き有難うございました。



交流委員長
飯間 圭吾

コロナ禍で、少しでも多くの情報交換と懇親を出来るよう交流委員会として活動出来たと考えております。厳しい状況での活動は自身としても成長する事が出来ました。ありがとうございました！

第43-44期 広報委員会 編集後記

守屋 栄橘

今期の広報委員会は、コロナ禍で制約された活動の中でも、メンバーの参加率はとても高く、Facebookなどでの情報発信が活発にできたことと自負しております。他方で、青年タイムスの発刊が思うようにいかず、対外発信の面でやり残したことが多くあります。今期委員会を支えてくださった関さんが、次期の新委員長としてこの青年タイムスの発刊にも尽力してくださいました。また、ここまで青年タイムスの発刊にご協力して下さった青年部会の卒業生であるアベ企画の安倍さんにもこの場を借りて深く感謝いたします。ありがとうございました。

岩田 亜矢子

委員会の活動が初めての中、多くの方に助けて頂き楽しく活動でき、とても勉強になりました。沢山の写真を記録と思い出して納める事にご協力頂きありがとうございました。

大田 知美

青年部会に在籍していた約10年の中、2期4年を広報委員会として活動させていただきました。この1年ほどは直接顔を合わせることも増え記録を残せたことが良かったです。ありがとうございました。

関 浩佑

この2年間、コロナ禍でイベントごとが中止になったりいろいろありましたが、各委員会の活躍やイベントの様子を広く、お届けできたのではないかと思います。ご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

渥美 元博

この2年間、町田法人会青年部会の活動を発信してきました。コロナ禍も落ち着き、多くの活動を発信できたことは喜ばしいことでした。委員会メンバーに感謝です。

植田 健太

コロナ禍で色々といレギュラーな日々でしたが、そのためにかえって会える時の貴重さが増したように感じます。色々楽しい時間を共有できありがとうございました！

THE SEINEN TIMES

July 2023
vol. 66
ザ・青年タイムス



報告会にサプライズでお越し頂いた 東方連青連協 大貫会長(右) と 笹野次年度部会長(左)

第43-44期 青年部会・第十五代 鈴木創 部会長から挨拶

「ありがとう。」私にとって「部会長」として活動させて頂いた2期4年間は、この言葉に尽きます。

在任期間の大部分が「コロナ禍」であり、これまでとは違う会運営が常に求められました。

もちろん活動を「止める」という判断も出来ましたが、こんな時だからこそ、仲間と集い語らう「場」はつくり続けなくてはいけないと判断し、副部長・委員長、副委員長などに協力を仰ぎながら、「やめず・止めず」活動を継続していくことが出来ました。定例会をWeb開催へ切り替え、さらに積極的にSNSを活用し補助金などのコロナ関連情報をUPし続け、青年部会の仲間を一社も情報難民にさせないつもりで当時はやっていました。

そして、コロナ禍であっても法人会の理念「税のオピニオンリーダーである。」ということを体現するべく、市内小学校で行う「租税教室」を女性部会と協力しながら実施。その町田オリジナル「租税教育プログラム 税金かねしばい」を全国の単位会でも活用してもらいたく、DVD制作委員会を立ち上げ、養成者用動画を4年の歳月をかけた製作、先日完成させることが出来ました。関係してくれた多くの仲間へ感謝します。

また昨年度、東京税理士会 町田支部との共同事業を開催。

町田市内の小学生を対象に「租税教室」を実施している団体同士が初めて具体的な取組と一緒に出来たことは、今後の展開に期待される第一歩になりました。

私はこの4年間、常に意識して会運営があります。

それは「やった人(=がんばった人)にスポットを当てる」ということです。法人会の活動は、「ボランティア活動」であり、見えないところで汗をかく仲間がいてはじめて成り立ちます。そんな仲間にスポットを当てることで、仲間同士の小さなきっかけを生み、仲間が出来ることで会への参加意識が高まり、さらに強い「繋がり」が生まれる。そんな「気持ちの循環」する集団にしたいと思って活動してきました。町田法人会 青年部会は、互いに成長しある関係性とお互いに助け合う(共助)団体であることを、仲間と一緒に証明することが出来たと思っています。

おわりに、事務局には多くのサポートを頂きました。日々、スムーズな会運営が出来たことにあらためて感謝します。

みんなと共に活動出来た2期4年は、本当に貴重な時間でした。

ありがとうございました。

第42-43期 顧問・相談役が語る『わたしと青年部会』



顧問
田中 健祐

私は30歳になる年、先に青年部会に所属していた同業の同級生から誘われ入会しました。団体での活動は初めてに等しく、何も判らないままでしたが当時の定例会参加者は10名程度でしたので、皆さんとのコミュニケーションも取り易く、厳しい中にも優しい方ばかりで、如何に最初の出会いが長続きの秘訣になるかを改めて思う所です。永らく居座って周りにご迷惑も掛けたいと思いますが、正に青春時代を過ごさせて頂きました。 感謝!



顧問
加藤 利彦

青年部会へは、1999年に入会しました。青年部会の役職は、会員交流の委員長1回、副会長は会員交流、租税担当、総務担当を引き受けました。そして、部会長をやらせていただきました。部会長になってすぐに、町田税務署長から租税教室の数を町田で増やしたいということで青年部会へオファーがきました。租税教室ができるようになって、三多摩法人会での租税教育事業のプレゼンの話がきました。会を盛り上げたい思いがありましたので、参加エントリーさせていただきました。租税教育委員会が頑張ってくださいだったので、東京代表に選ばれました。岐阜の全国大会で東京代表として登壇し優勝目指してプレゼンを頑張りました。結果は、奨励賞でした。皆様にささえられ、とても充実した青年部会の活動をおこなえ、たくさんの良い思い出を作らせていただきましたことに大変感謝しております。ありがとうございました。



相談役
岡崎 隆司

私の青年部会入会は2011年7月。当時の青年部会長は杉浦現副会長で、ご紹介はなかじま商事株式会社の中島社長です。入会後はとにかく多くのイベントに参加し、諸先輩方とお酒を酌み交わしていくうちに、皆さんの「地元愛」に魅了されていきました。部会内では研修委員会を経て租税教育委員会を6年担当致しました。先輩方から影響うけた「地元愛」、青年部会の骨子である租税教育活動を通じて、地元社会貢献活動と皆さまとのお縁を提供してくれた青年部会は、私にたくさんの学びを与えてくれました。微力ながら引き続きお手伝いしてまいります。

署長講演会2022



令和4年9月2日(金)
7月より着任された町田税務署 岡 新太郎 署長より「電子帳簿保存法」をテーマに、令和3年度法改正のポイントを併せて詳しく解説をいただきました。
3年ぶりの対面での「署長講演会」には、部会員に加え、沢山のOBにも参加いただいた51名もの参加で盛会となりました。
岡署長、とても参考になるお話をありがとうございました。
またご参加頂いた皆様、ありがとうございました!

MachiBiz2022



令和4年10月31日(月)
マチビス2022は、「町田のブランディング」をテーマに、面白法人 カヤック 代表取締役CEO柳澤大輔氏を講師にお招きし97名の若手経営者が集まりました。
JC・YEG三団体で毎月会議を重ね準備出来たことが、参加者の「地域活性への意識向上」につながったと思っております。
講演会後は、三団体そろっての交流会を開催し、今後の町田の地域活性につながるためのキーワードをレポート用紙にグループでまとめました。
参加者からは「町田の新たな発見が沢山あった」と好評をいただきました。米山副部会長をはじめ、研修委員会の皆さんで助け合いながらマチビス2022を開催することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

第36回 法人会全国青年の集い 沖縄大会 2022年11月24日(木)~25日(金)



2022年11月24日・25日「第36回全国青年の集い 沖縄大会」が開催されました。
3年ぶりの現地開催ということで、町田法人会青年部会からは27名もの部会員が参加しました。
全国大会会場は、沖縄市に2021年4月に完成した「沖縄アリーナ」。B.LEAGUE 琉球ゴールデンキングスのホームアリーナだけあって最新の大型ビジョンもあり、最高の雰囲気でした。
また、ドレスコードは「かりゆしウエア」でしたので、参加した部会員の個性が出てよかったです。
大会2日目には、全国大会初の試みとして「会員交流分科会」が開催され、全国から選抜された単位会が、租税教育と健康経営の2つのテーマで話し合いがされたのですが、町田法人会も選抜され参加し、今回の沖縄大会は、町田の存在感を大きく示せたと思います。
今年開催される山形大会にも、多くのメンバーが参加してくれることを願っています。

租税教育委員会 安齋委員長のコメント

第36回法人会全国青年の集い沖縄大会では各県連の代表が租税教育のプレゼンテーションを行いました。
子供たちにどのようなアプローチで税金の大切さを伝えるか、様々な角度からの伝え方、今後の租税教育活動がステップアップしていく上でとても貴重な時間を体験しました。
会場の外では租税教育活動パネル展示もあり各県連の代表単位会の実際行っている事のパンフレットなども配られていました。
大会2日目に行われた会員交流分科会では、全国の各単位会の租税教育のやり方や、課題などをグループごとのディスカッションに参加してきました。
そこでは、『このままの租税教育でいいの?』、『人材不足』、『何をしたいのかわからない』、『マンネリ化してきている』、などの各単位会の現状を知りました。町田法人会の租税教育でやっている「かねしばい」を伝えると『楽しそう。』『子供たちが楽しく聞いてくれるよね。』など言って頂きました。
町田法人会青年部会の「かねしばい」は改めて凄いいことをしているな。と感じました。もちろんまだまだ伸びしろはあると感じています。
これからも経験を積んで、租税教育の楽しさを会員のメンバーに体験してもらい、新しい発想など話し合えたらと思っています。
全国大会は各単位会と仲良くなれる、情報交換できる場所であることが初参加させて頂き強く感じました。
次は山形大会です。是非、青年部会の皆様ご参加してください。